

事業報告書

事業名	介護福祉士養成継続的訓練（研修）の体系化に関する研究
事業の実施状況	<p>介護福祉士養成課程（2年～4年）を卒業した新人介護福祉士が学んだ知識を統合し、実践に生かすための訓練が必要と提言されていることに鑑み、介護福祉士が学んだ知識を統合し、実践に生かすための訓練内容を明らかにし、モデル的に実施し、その有効性を検証しようとするを目的に、3年計画で研究を実施する予定である。2年目となる令和2年度は、以下のことに取り組んだ。</p> <p>○モデル訓練（研修）の実施、経過報告書の作成</p> <p>昨年度の研究成果から示唆されたことを基に、介護過程の展開を自律的に行うことを主軸におき新卒から経験3年以内の介護福祉士養成校卒業者を対象に10月～3月までの間に、月に2回（2週おき）、1回当たり3時間の講義・演習を全回リモートで実施した。対象者9名のうち1名から研修4回を終えたところで参加の辞退があったが、8名は、全12回参加し、第I期のモデル訓練（研修）を終了した。</p>
事業の成果	<p>1）報告書は、公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会、日本介護福祉士会、全国老人保健施設協会、全国老人施設協議会等に提供し、介護福祉士で介護職員のリーダーとなるための教育訓練がどのようなものであるのかの情報を提供する。</p> <p>2）多くの養成校が2年間で介護福祉士を養成しているが、それだけではリーダーとなる十分な教育が不足することが考えられるので、リカレント教育として働きながら養成校にも籍を置き教育訓練することの効果介護福祉士養成施設協会に提供し、新たな教育体系の構築の一助にして頂く。</p> <p>3）日本介護福祉士会には、様々な研修を一つの体系にまとめ、継続的な養成校の関わりが有効であるから、研修の体系を介護福祉士養成校と提携して実施する等を提案する予定である。</p>